



Best in Speciality Show Judge

Mr. David Craig (Foulby Labradors)

幼い頃から私の家に犬が居なかったという記憶がありません。1979年に両親が地元のブリーダーから譲り受けた犬が、私の初めてのラブラドルとなりました。ブリーダーからショーの誘いを受け、段々と熱中するにつれて、私は自分のペットがショーやラブラドル犬舎を立ち上げるために十分なクオリティーを持っていることに気付きました。

当時一頭のブラックの雄がショーリングに大きな衝撃を与えているところでした。それは Anne Taylor 女史の美しい Ch Fabracken Comedy Star (Murphy) です (私は彼をブリードスタンダードの権化だと思っています) そして父に、Arthur and Peggy Kelley (Bradking) の良いチョコレート雌 Bradking Cassandra (Sh Ch Bradking Cassidy と同リッター) が丁度 'Murphy' の子犬を出産したところなので、接触するよう勧めたのは Anne の母親 Pat だったのです。

Bradking Bridgette of Davricard (チョコレート・雌) は1981年にこのリッターから生まれ、1984年にかの有名なブリーダー、出陳者、審査員である故 Gwen Broadley 女史 (Sandylands), Margot Woolley 氏 (Follytower), Joan Macan 氏 (Timspring) から3つのCCを獲得し、私の最初のショーチャンピオンとなりました。'Bridgette' は、英国内及び海外で多くのチャンピオンを輩出したブラックの雄である Sh Ch Davricard Bobby Shafto の祖母にあたります。

ラブラドルについて沢山のことを教えて下さった Kelley 夫妻と私は、大変親密な友好関係を築き、彼らからブラック雌の Sh Ch Bradking Molly-Mo (おそらく彼女の最高の賞は1990年のクラフト展でのCCでしょう) を譲り受けました。そして夫妻と共に彼らの最後のブリーディングとなるイエローの雄 Sh Ch Bradking Hugo をキャンペーンし、未だに保持されているブリードCCを樹立するという喜びを得ました。彼は合計で50のCC (クラフトCCが2個、ガンドッググループウィナー、1年で21個のCC獲得を含む) を獲得しました。そして5歳の時に潔く引退しました。

その後私は Angela Williams 女史 (Foulby) と共にショー・ラブラドルを続け、ガンドッググループウィナーにもなった Sh Ch Foulby Agatha Christie を含む5頭のブラック雌チャンピオンを作り上げました。合計すると10頭の英国ラブラドルチャンピオンを作出OR所有しました。また、Angela とはタイトル所持のアイリッシュウォータースパニエル6頭とのワイマラナー1頭を共同で繁殖し所有しました。これに加えて私はビーグルでも成功し、3頭の英国チャンピオンを作りしました。

これまで殆どのヨーロッパ諸国及びスカンジナビアの国々や、ポトマック展を含むアメリカ、オーストラリア、そして2010年にはクラフト展でラブラドルの審査をしました。

日本へ審査でお招き頂くのは大変名誉なことであり、大いに楽しみにしています。

David Craig